

NO	事業名	事業概要	実績報告額 (交付対象事業費) (円)	実績報告額 (国費) (円)
1	介護認定デジタル化推進事業	介護認定調査、認定審査会の業務に電算システムを導入することで、事務の効率化、正確性の向上を図り、住民が適切な介護サービスを速やかに利用できる環境構築を目指す。	18,144,478	9,072,239
2	デジタル技術を活用したスマート行政サービスセンター設置事業	市内の大型商業施設に「デジタル技術を活用したスマート行政サービスセンター」を設置することで、市役所窓口の混雑緩和や市民の利便性の向上を図る。	24,914,585	12,457,292
3	予診票のデジタル化事業	予防接種予診票を含む事務手続きをデジタル化することで、市、医療機関、保護者の三者間で連携による業務の効率化と各者の負担軽減を図る。	2,600,400	1,300,200

予診票のデジタル化事業が、佐野市まち・ひと・しごと創生懇談会での効果検証対象のため、次ページ以降にKPI進捗状況を添付します。

事業概要【予診票のデジタル化事業】

自治体名	栃木県佐野市	人口	114,241人	事業費	2,600千円
事業概要	予防接種予診票を含む事務手続きをデジタル化することで、スマートフォンやタブレット、PCを使用し、デジタル予診票の入力、医師の署名、予防接種記録等の確認ができるようにする。 市、医療機関、保護者の三者間で連携することで、業務の効率化を図り、各者の負担を軽減する。				
具体サービス	予防接種の予診票と接種履歴をデジタル化し、保護者、医療機関、自治体でデータを共有することで、保護者の管理や予診票記入の負担を無くし、医療機関・自治体の事務手続き等の削減を行う。 また小児予防接種においては接種ルールが煩雑であることから、接種間違いが全国的にも度々発生している。本サービスではシステムが間隔・接種時期を判定を行うため、ヒューマンエラーの抑制を期待できる。 「デジタル予診票」を使用する				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①デジタル予診票の利用率 ②デジタル予診票へ対応する医療機関数		【アウトカム指標（成果指標）】 ①市の子ども子育て応援アプリの登録者数 ②子育てに負担や不安を感じている保護者の割合（未就学児、小学生）（市民アンケート） ③デジタル予診票利用者の満足度		
取組状況	【令和6年度】 市内の3医療機関においてデジタル予診票の運用を開始した。 ※電子化した予診票：1種（ジフテリア・破傷風（DT・第2期）予防接種）				

2

サービス内容（政策目的への適合性）：アウトプット指標（活動指標）

■ 事業の成果を複数年にわたって計測するためのKPI（3カ年分）*1つ以上

※事業の成果が地域の課題解決や魅力向上に資するものであることを複数年にわたって計測するためのKPIを設定すること。

KPI①	デジタル予診票の利用率	種別	アウトプット	単位	%
KPIの概要、測定方法	予防接種（例：MR）における予診票において、デジタル予診票の割合を測定することで、デジタル予診票の利用率を図る（デジタル予診票の件数／定期予防接種の予診票の件数）。				
事業成果等の計測に適する理由	現在、紙で受けつけている予診票全体におけるデジタル予診票の活用度を測ることで、デジタル予診票の利用率を測ることができる。デジタル予診票の普及に不可欠な医療機関等の認知度が低い現状があるが、子育て応援アプリの利用者を増やし、デジタル予診票のニーズを増やすことで、対応する医療機関の増加を図り、年々活用度を増していくことで、保護者・医療機関・行政の負担を軽減していく。 （紙→デジタルへの活用を広げていくことで、アナログからデジタル対応への変換につなげ、保護者負担を軽減していく）				
	2024年度末	2025年度末	2026年度末		
目標値	5	15	30		
実績値	0.00003				

※ 0.00003%：R6デジタル予診票の請求件数（1件） / R6定期予防接種件数（40,788件）

KPI②	デジタル予診票へ対応する医療機関数	種別	アウトプット	単位	機関
KPIの概要、測定方法	デジタル予診票へ対応する医療機関数				
事業成果等の計測に適する理由	デジタル予診票を利用できる医療機関が増えること、デジタル予診票の活用機会が増える。				
	2024年度末	2025年度末	2026年度末		
目標値	3	7	15		
実績値	3				

サービス内容（政策目的への適合性）：アウトカム指標（成果指標）

■ 事業の成果を複数年にわたって計測するためのKPI（3カ年分）*1つ以上

KPI①	市の子ども子育て応援アプリの登録者数	種別	アウトカム	単位	人
KPIの概要、測定方法	従前にリリースしている本市のアプリの登録者数（R5.10月リリース、同年12月現在517人）。				
事業成果等の計測に適する理由	子育て全般を支援するアプリにデジタル予診票への入力を促す機能を設置することで、アプリの機能拡張及び魅力向上につながり、子育て世帯の負担軽減につなげることができる。				
	2024年度末	2025年度末	2026年度末		
目標値	1,400	2,200	3,000		
実績値	1,067				

KPI②	子育てに負担や不安を感じている保護者の割合（未就学児、小学生）（市民アンケート）		アウトカム	単位	%
KPIの概要、測定方法	毎年実施している市民2,000人対象に、無作為抽出し実施しているアンケートによる聞き取り（R4：78.1%）。				
事業成果等の計測に適する理由	子育ての負担や不安感が減少することで、子育て支援・子育て環境の充実度が図れる。				
	2024年度末	2025年度末	2026年度末		
目標値	60	59	58		
実績値	75.4				

KPI③	デジタル予診票利用者の満足度	種別	アウトプット	単位	%
KPIの概要、測定方法	本アプリケーションを利用する方へのアンケートにより測定。アプリの導入による子育て世帯の負担軽減度を測ることができる				
事業成果等の計測に適する理由	本アプリケーションの満足度を図ることで、本アプリ使用者の裨益性が確認できるため。スタート時には対応ワクチン数、医療機関数が少ないため、今後、拡充していくことで満足度の向上につなげる。				
	2024年度末	2025年度末	2026年度末		
目標値	80	85	90		
実績値	未計測				